

都001	項目名	公共交通感染拡大防止支援事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	13	所 属 名
年度	R2	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326			
款 総務費	【10次総の施策体系】4202			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、不特定多数が利用される公共交通機関の安全・安心な利用環境の確保が求められている。			
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 路線バス及びタクシー事業者に対して、感染防止用の衛生用品の購入にかかる経費を支援することで、公共交通機関の安全・安心な利用環境の確保を図るとともに、業績が著しく悪化している交通事業者を支援する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・補助対象者：本市に営業所を有する路線バス事業者及びタクシー事業者 ・補助対象経費：消毒液、マスクなど衛生用品の購入経費 ・補助金上限額：バス10,000円/台、タクシー5,000円/台、鳥取バスターミナル150,000円 ※バス台数：110台、タクシー台数：300台			
補正前額	0	分担金		
要求額	2,750	負担金		
総務部長段階査定額	2,750	使用料		
市長段階査定額	2,750	手数料		
区分	補正額	財産収入		
財源内訳		寄付金		
国・県支出金	2,750	繰入金		
地方債	0	雑収入		
その他	0	その他		
一般財源	0			
計	2,750			
行財政改革課処理欄				

都002	項目名	まちなか情報誌発行支援事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	19	所 属 名
年度	R2	都市整備部 中心市街地整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331			
款 商工費	【10次総の施策体系】3203			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 本市では中心市街地の情報発信のため、中心市街地エリア情報誌「わかっか」を発行している。このたび、新型コロナウイルス感染症の影響で影響を受けているまちなかの商店街等の情報をこの情報誌に掲載し、商店街等の支援を推進する。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 新型コロナの感染拡大を受け、売上げが落ち込む商店街の取り組みやまちなかで開催されるイベント情報等を発信する。また、コロナによる支援策、コロナの感染予防策などを積極的に発信し、市民への周知を図るとともに、中心市街地への集客に特化したまちなか情報誌を発行する。 「わかっか」(年4回発行)の作成を行う。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・中心市街地エリア情報誌「わかっか」の発行 「わかっか」は現在中心市街地とその周辺地域に配布している。 まちなかへ訪れる機会が減ることにより打撃を受けたまちなかの商店街や飲食店、観光イベントの情報を掲載し、まちなかへの集客を図る。 ◆令和元年度の配布範囲は中心市街地とその周辺地域(吉成一帯を追加配布) 配布数 市報折込11,000部 各施設設置3,000部 ◆今年度の新規配布先(配布数2,800世帯×年4回発行) 的場、大覚寺一帯：1,500部 田島、西品治一帯：1,300部 ◆新規設置(設置数200部) 市内幼稚園・保育園、中心市街地に隣接する文化センター内子育て広場。 ◆年2回特定地域へのポストイン(配布数4,000部×年2回発行)			
補正前額	0	分担金		
要求額	2,716	負担金		
総務部長段階査定額	2,716	使用料		
市長段階査定額	2,716	手数料		
区分	補正額	財産収入		
財源内訳		寄付金		
国・県支出金	2,716	繰入金		
地方債	0	雑収入		
その他	0	その他		
一般財源	0			
計	2,716			
行財政改革課処理欄				

都003	項目名	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		
予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	21	所 属 名
年度	R2	都市整備部 中心市街地整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331			
款 土木費	【10次総の施策体系】 3203			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】			
目 都市計画総務費	鳥取駅周辺地区は交通の要衝として発展してきたことから、大型店舗や商店街が集中するとともに、公共施設も所在しているなど、都市基盤や地域資源が充実しているが、近年は交流や経済活動の中心地としての賑わいや活気が減退しつつある。			
(単位：千円)	このような中、中心市街地活性化基本計画においては駅周辺地区をひとつの重要な核として位置づけ、各種再生に向けた施策を講じている。			
補正前額	0	【事業の目的及び効果】		
要求額	2,500	新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い落ち込んだ消費の喚起、経済活動の回復、エリアの滞在性や回遊性を向上させるため、訪れる人々に晴れやかな気持ちや、落ち着きを感じてもらい空間づくりを行うなど、楽しめるまちを印象づける基盤の整備が必要となっている。		
総務部長段階査定額	2,500	本事業では、一体的なデザイン・整備によるライトアップ演出を行い、駅前シンボルとしての空間形成を図ることで、中心市街地への誘客効果や、市民にとっての憩いの場となることが期待されるほか、空間の魅力を高めることで、イベント利用や出店などによる公共空間の利活用促進のきっかけとする事をねらいとしている。		
市長段階査定額	2,500	【事業の内容】		
区分	補正額	鳥取駅前風紋広場周辺において、年間を通じイルミネーションを設置することで、駅前エリアにおける一体的なライトアップ演出を実施する。		
国・県支出金	2,500	(イルミネーション設置規模)		
地方債	0	風紋広場 樹木：4,000球×5本 = 20,000球		
その他	0			
一般財源	0			
計	2,500			
行財政改革課処理欄				

都004	項目名	住宅小規模リフォーム助成事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		
予算書項目	民間住宅整備支援費	ページ	21	所 属 名
年度	R2	都市整備部 建築住宅課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 住宅係 0857-30-8371			
款 土木費	【10次総の施策体系】 4201			
項 住宅費	【事業の経過及び背景】			
目 住宅管理費	全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、地域経済活動が縮小しつつある中、地域経済の活性化及び住民生活の向上を図る取組が求められている。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
補正前額	0	市内施工業者を利用した個人住宅のリフォームを促進することにより、市民の居住環境の向上及び地域経済の活性化を図る。		
要求額	40,519	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	40,519	次の条件を満たす個人住宅のリフォームを行う場合に、その経費の一部を助成する。		
市長段階査定額	40,519	・市内に本社を有する施工業者を利用すること。		
区分	補正額	・工事費が20万円以上のもの		
国・県支出金	40,519	・令和3年3月31日までに工事が完了するもの		
地方債	0	・助成工事に係る経費の20% (上限20万円 (千円未満の端数切捨て))		
その他	0	※ただし、次に該当する場合には20% (上限30万円 (千円未満の端数切捨て))		
一般財源	0	①満18歳未満の子どもを養育する世帯 (子育て世帯)		
計	40,519	②障がい者がいる世帯		
行財政改革課処理欄	③満65歳以上の高齢者がいる世帯			
	【事業費】			
	○住宅小規模リフォーム助成事業 上限20万円×200件=4,000万円			